

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 3 月 7 日 (2013.3.7)

【公開番号】特開 2009-140929 (P2009-140929A)

【公開日】平成 21 年 6 月 25 日 (2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報 2009-025

【出願番号】特願 2008-309205 (P2008-309205)

【国際特許分類】

H 0 1 H 69/01 (2006.01)

H 0 1 H 71/74 (2006.01)

【F I】

H 0 1 H 69/01

H 0 1 H 71/74

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 1 月 18 日 (2013.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自動遮断器定格設定を行う回路遮断器用の電子制御器 (225、325) であって、
複数の回路遮断器定格を格納するメモリ (208、308) と、
 前記メモリ (208、308) に格納された前記回路遮断器定格を選択する遮断器定格設定スイッチ (205、305) と、
 前記遮断器定格設定スイッチ (205、305) 及び前記メモリ (208、308) に適切に作用可能に結合されたマイクロプロセッサ (212、312) と、を備え、
前記複数の回路遮断器定格の各々は、前記回路遮断器を通ることが許される最大電流の異なるアンペア定格であり、

前記マイクロプロセッサ (212、312) は、
 前記遮断器定格設定スイッチ (205、305) により設定された前記回路遮断器定格内の定格を解釈し、
 前記選択された回路遮断器定格に基づいて、前記回路遮断器に対する増幅利得調整を設定し、
 前記選択された回路遮断器定格を前記メモリ (208、308) へ送信する、電子制御器 (225、325) 。

【請求項 2】

更に、
 前記マイクロプロセッサ (212、312) に作用可能に結合され、前記増幅利得調整を設定する電子ポテンショメータ (200) を備える、請求項 1 記載の電子制御器 (225、325) 。

【請求項 3】

更に、
 前記マイクロプロセッサ (212、312) に作用可能に結合され、前記増幅利得調整を設定する抵抗スイッチネットワーク (300) を備える、請求項 1 記載の電子制御器 (225、325) 。

【請求項 4】

更に、

前記遮断器定格設定スイッチ（２０５、３０５）及び前記マイクロプロセッサ（２１２、３１２）に作用可能に結合され、回路遮断器定格選択中に前記マイクロプロセッサ（２１２、３１２）に電力を供給する電池（２０７、３０７）を備える、請求項１乃至３のいずれか１項に記載の電子制御器（２２５、３２５）。

【請求項５】

前記電池（２０７、３０７）は、前記遮断器定格設定スイッチ（２０５、３０５）の状態変化時に起動される、請求項４記載の電子制御器（２２５、３２５）。

【請求項６】

前記電池（２０７、３０７）は、前記回路遮断器に供給される外部電力が存在しない場合に起動される、請求項４記載の電子制御器（２２５、３２５）。

【請求項７】

前記電池（２０７、３０７）は、前記選択された回路遮断器定格の格納時に停止される、請求項４記載の電子制御器（２２５、３２５）。

【請求項８】

更に、

前記マイクロプロセッサ（２１２、３１２）に作用可能に結合され、前記回路遮断器により制御される負荷電流から導出された電流レベル示度を提供するアナログ－デジタル変換器（２１４、３１４）を備える、請求項１乃至７のいずれか１項に記載の電子制御器（２２５、３２５）。

【請求項９】

前記メモリ（２０８、３０８）は、不揮発性メモリである、請求項１乃至８のいずれか１項に記載の電子制御器（２２５、３２５）。

【請求項１０】

前記遮断器定格設定スイッチ（２０５、３０５）は、前記回路遮断器定格内の一組の所定定格の手動選択用スイッチバンクである、請求項１乃至９のいずれか１項に記載の電子制御器（２２５、３２５）。

【請求項１１】

回路遮断機の自動遮断器定格設定を行う方法であって、

マイクロプロセッサ（２１２、３１２）により遮断器定格設定スイッチ（２０５、３０５）に入力された所望の回路遮断器定格であって、回路遮断器を通ることが許される最大電流の異なるアンペア定格である前記所望の回路遮断器定格を検出する段階と、

前記所望の回路遮断器定格に基づいて前記回路遮断器の増幅利得の調整を設定する段階と

と、

前記回路遮断器のメモリ（２０８、３０８）に前記所望の回路遮断器定格を格納する段階とを含む方法。

【請求項１２】

回路遮断器用の電子制御器（２２５、３２５）であって、

複数の回路遮断器定格を格納するメモリ（２０８、３０８）と、

前記メモリ（２０８、３０８）に格納された前記回路遮断器定格を選択する遮断器定格設定スイッチ（２０５、３０５）と、

前記遮断器定格設定スイッチ（２０５、３０５）及び前記メモリ（２０８、３０８）に適切に作用可能に結合されたマイクロプロセッサ（２１２、３１２）と、を備え、

前記複数の回路遮断器定格の各々は、前記回路遮断器を通ることが許される最大電流の異なるフルアンペア定格であり、

前記マイクロプロセッサ（２１２、３１２）は、

前記遮断器定格設定スイッチ（２０５、３０５）により設定された回路遮断器定格を解釈し、

前記選択された回路遮断器定格に対する前記回路遮断器のフルアンペア定格を設定し、

前記解釈された回路遮断器定格を前記メモリ（２０８、３０８）へ送信する、電子制御器

(2 2 5 、 3 2 5) 。